



2019年5月20日

2019年3月期

決算説明会

株式会社アイネット

[東証1部:9600]



1. はじめに(会社概要)

2. 2019年3月期トピックス

3. 2019年3月期業績概要

4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期経営計画

6. 通期業績予想



1. はじめに(会社概要)

- 商号 株式会社アイネット
- 設立 1971年4月22日
- 本社 横浜市西区みなとみらい3-3-1
- 資本金 3,203百万円
- 創業者 取締役会長 池田 典義
- 代表者 代表取締役社長 坂井 満
- 子会社
株式会社ISTソフトウェア
株式会社ソフトウェアコントロール
株式会社アイネット・データサービス
- 社員数 1,675名(連結)
945名(単独)
- 事業所／支店／データセンター
東京事業所
札幌支店、仙台支店、中部支店、大阪支店、中四国支店、福岡支店
第1データセンター、第2データセンター



inet グループ概要(2019年4月1日現在)

inet 株式会社 アイネット

資本金 32億
連結従業員 1,675名
単体従業員 945名

事業内容

情報処理サービス
システム開発サービス
システム機器販売

連結子会社
100%

it 株式会社ISTソフトウェア

資本金 608百万円
従業員 489名

連結子会社
100%



株式会社ソフトウェアコントロール

資本金 54百万円
従業員 241名

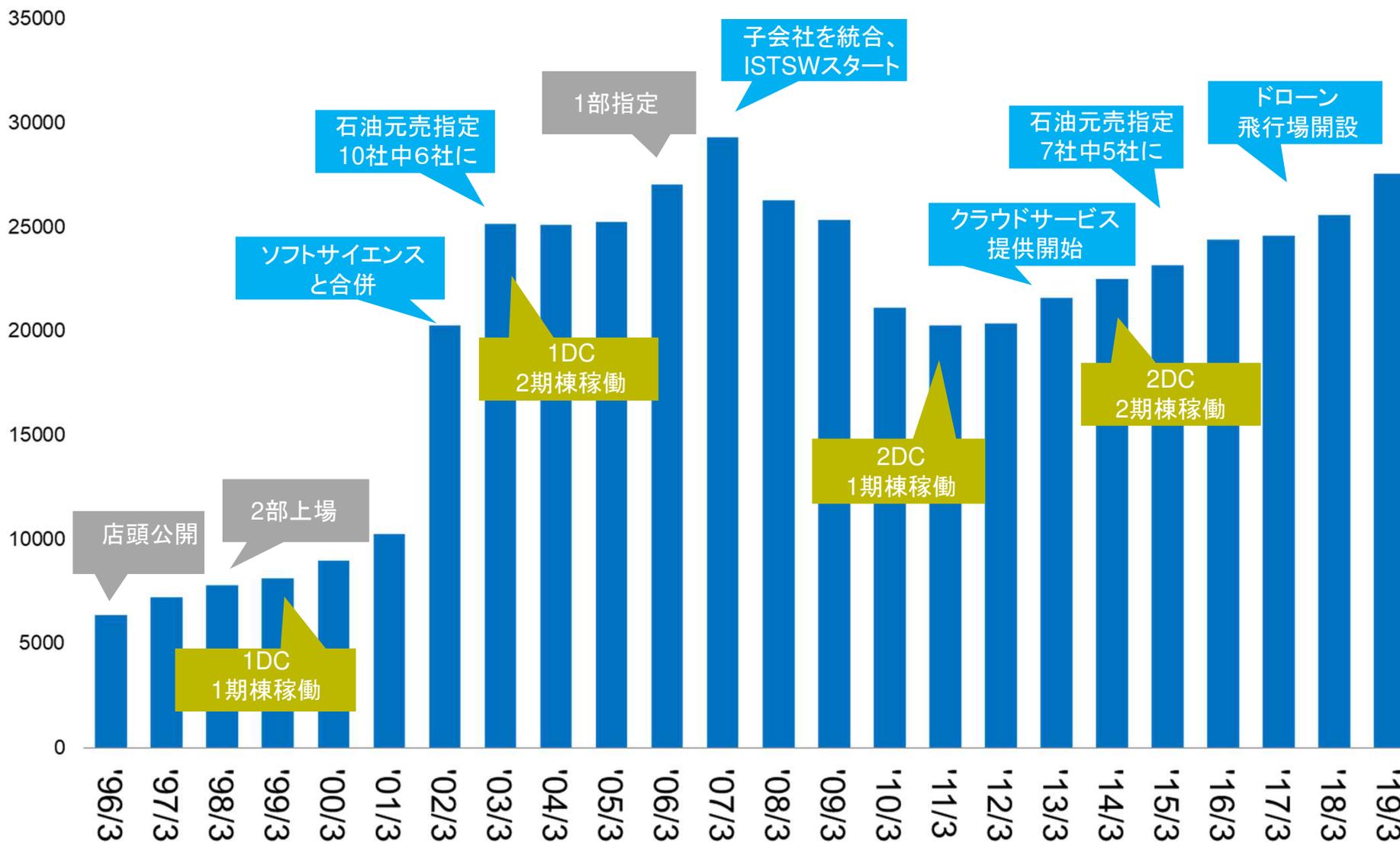
非連結 特例子会社
100%

株式会社アイネット・データサービス

資本金 9百万円
従業員 26名

(売上)

(単位:百万円)

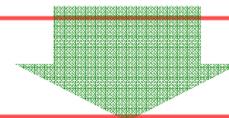


【SSでの受託計算／決済処理】

SS: サービスステーション(ガソリンスタンド)



国内約33%が当社処理を利用
国内トップシェア



実績と事業基盤を活用し
他業種へ決済処理を横展開

【プリント・メーキング】

帳票印刷、ダイレクトメール、請求書などのプリント
及び封入封緘

(具体例)

クレジットカード利用明細、納税通知書、選挙はがき 等



【BPO・コールセンター】

データ入力／カード申込受付
カードご利用照会／コールセンター

(封入封緘設備)

【データセンターサービス】



第1データセンター
(横浜)

総床面積約9,000㎡



第2データセンター
(横浜)

総床面積約13,000㎡

【クラウドサービス】

データセンター上で、
様々なクラウドサービスを展開

Next Generation
EASY Cloud[®]

Cloudstor[®]
Private Cloud HDFS Storage Service

VIDAAS[®]
Private Cloud Desktop as a Service

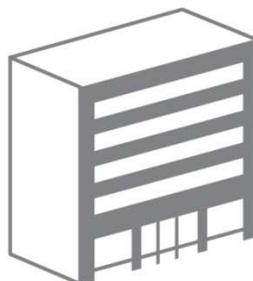
名刺情報管理サービス

名刺バンク

Mobile Meets[®]

業務アプリケーション開発、パッケージソフト開発、汎用ツール開発、制御組込、宇宙開発など、長年培った信頼関係により多くのお客様のシステムの設計、構築を、幅広い分野で行っています。

銀行／金融機関



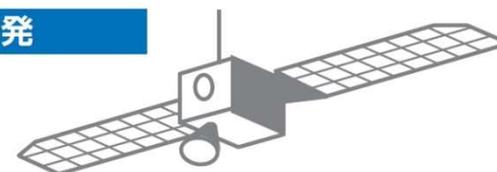
ガソリンスタンド



コンビニ／スーパー



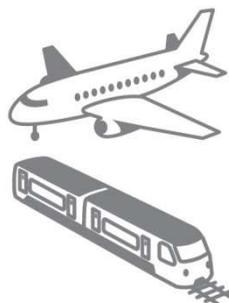
宇宙開発



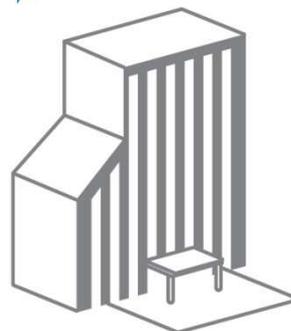
建設／建築



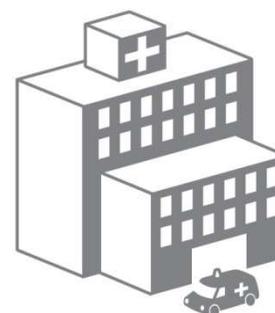
航空／旅行会社



官公庁／自治体



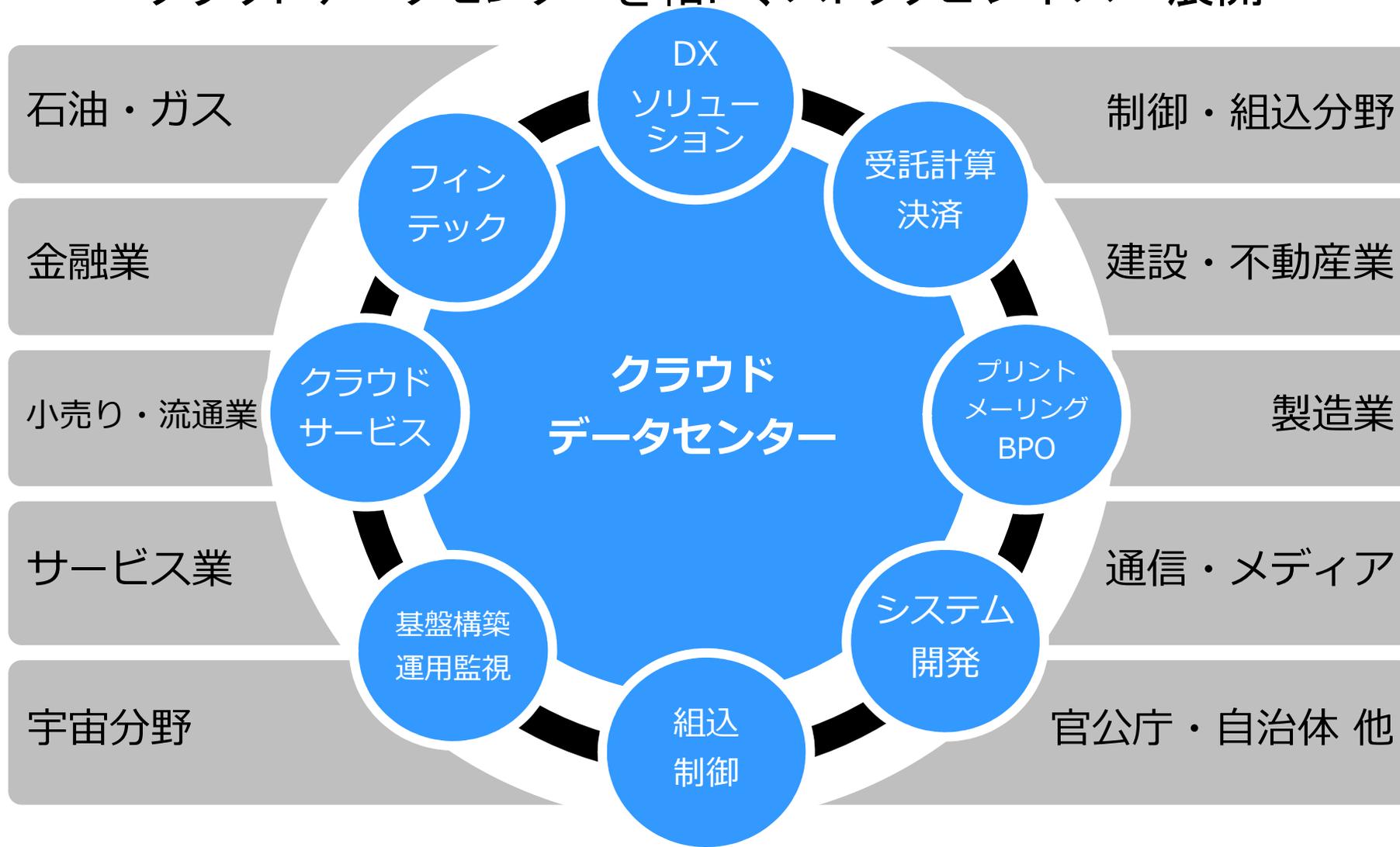
医療



製造



様々なサービスをお客様のビジネスに合わせ連携
クラウドデータセンターを軸に、ストックビジネスへ展開





2. 2019年3月期トピックス

NVIDIAのGPUを搭載したマイクロデータセンター事業をスタート、エッジフィールドでAI/映像IoT事業を加速へ



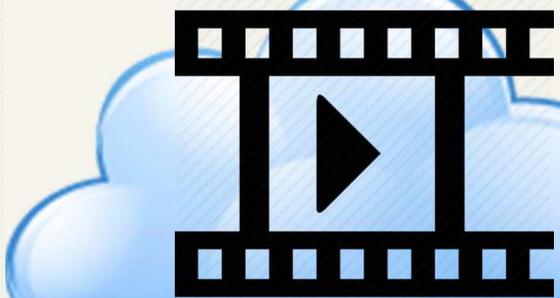
マイクロデータセンターは、当社のドローン飛行場に設置するほか、建築・土木、工場・プラント、農業・圃場、交通システム、医療・病院、空港・ターミナル、ショッピングモール、テーマパーク、イベント会場などへ設置を目指します。



首都圏エリアに約140,000㎡のドローンフライングフィールドを設置

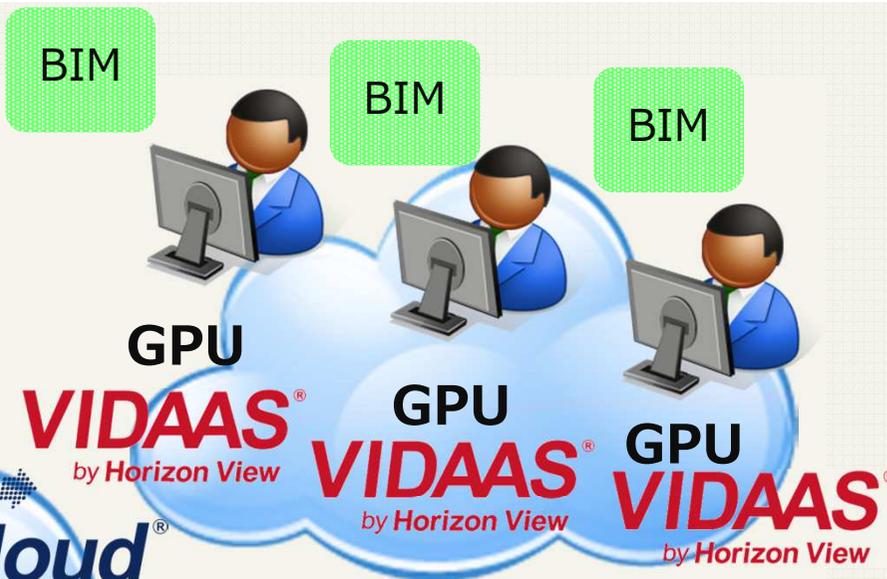
inet + **AKT/O** アクティオ様
PLS ペーパーレススタジオジャパン様

BIM教育動画配信サイト



教育動画配信サイトを
NGEC上で提供

Next Generation
EASY Cloud

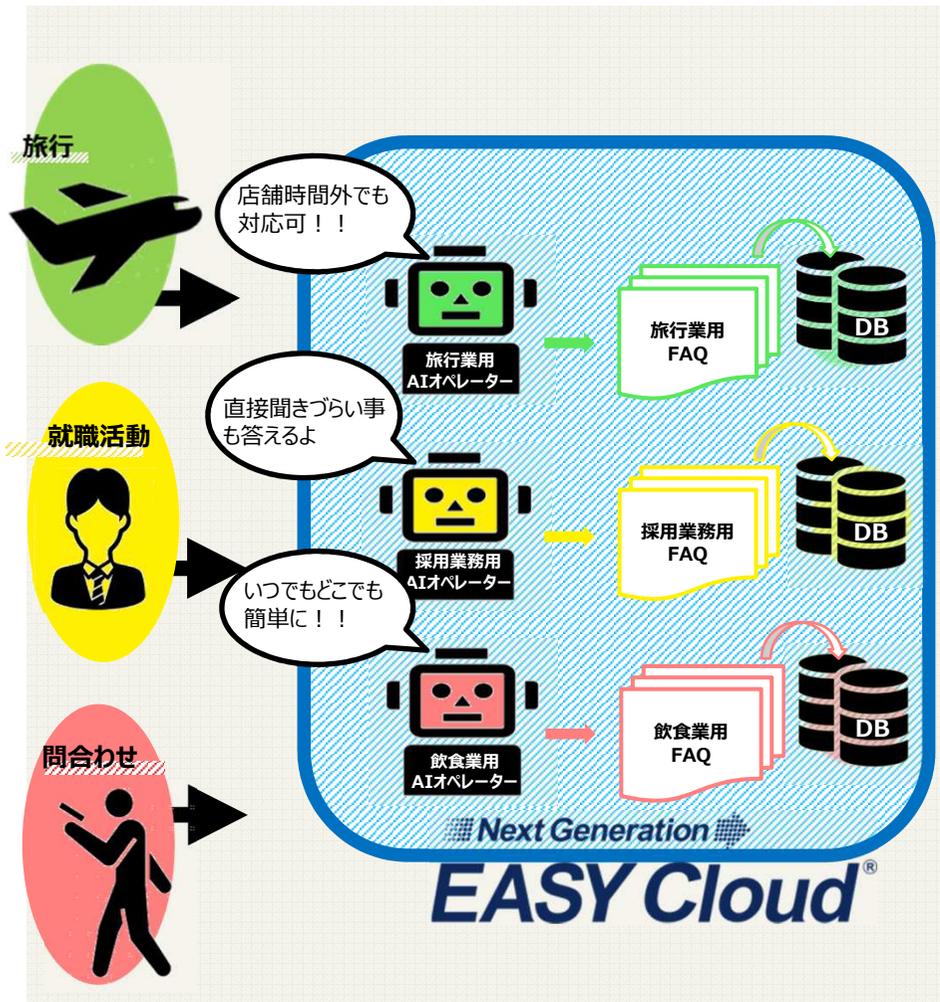


BIMパッケージの
クライアントを
VIDAAS by Horizon
vGPU-VDIで提供

@JAXA



SPJ様のAI技術



高精度AIチャットボットクラウドサービス

採用活動は私に任せてね！

導入例 新卒採用ver.

カテゴリは「給与」かな？
「手取り」というキーワードがある！

手取りはいくらくらいですか？

カテゴリは「休暇」かな？
4番のFAQだ！

好きな時に休めますか？

独自で開発した高精度AIエンジン Neurox

類似文章 計算法 形態素解析 スコア化

FAQ

- A1. 保険料等が引かれ、初年度の手取りは18万前後です。次年度からは……
- A2. フレックスタイム制度は……
- A3. 社内の雰囲気や上司と……
- A4. 休暇は取りやすい環境です。月に1回は有休を取る若手社員も多い……
- A5. 離職率は15%で、寿退……

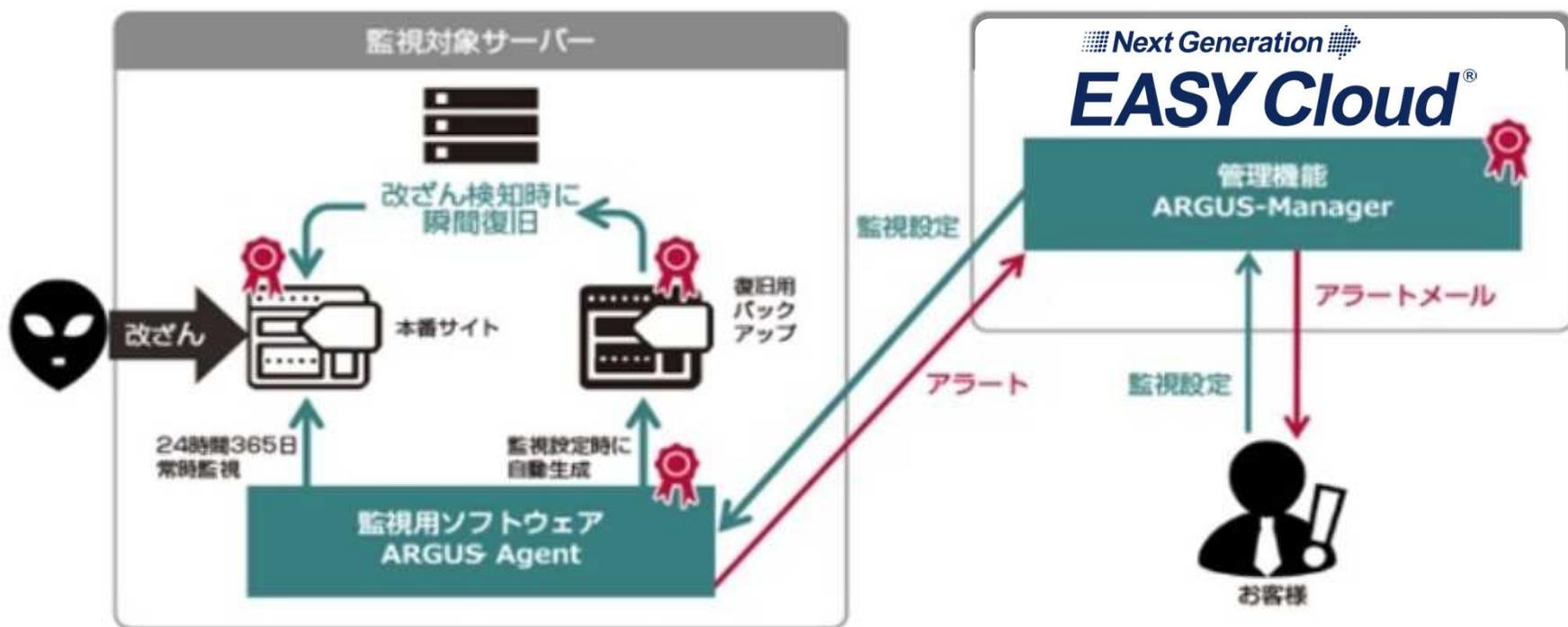
高精度チャットボットはメリットたくさん！

- 人事も就活生も win×win**
やることが山積み！人事部の人手が足りないなら、**問合せ対応をAIに頼めばいい！** 就活生だってAI相手になら、聞きたくても聞けなかった質問が気軽にできる！
- リクルート戦略**
よく質問されている内容を蓄積・分析して、**リクルート戦略に活用しよう！** 今の就活性がどんな会社を望んでいるのか、**ユーザーの本音がわかる！**
- 話題の企業に**
就活EXPOや会社説明会で高精度チャットボットの導入をすれば、注目されること間違いなし！**求めている人材に出会うチャンスが増える！**

inet + Rworks

アールワークス様の
セキュリティサービス

アールワークス様のSaaS型改ざん瞬間検知・瞬間復旧ソリューション「SECURE-ARGUS」を、当社のクラウド基盤Next Generation EASY Cloud®上で提供



同社をグループに迎え、一層の営業・開発基盤の拡充、および西日本地区の強化を図ります。



株式会社ソフトウェアコントロール
Software Control Corporation

資本金 54百万円

※2018年11月1日現在

売上 2,135百万円

※2018年1月期

従業員 239名

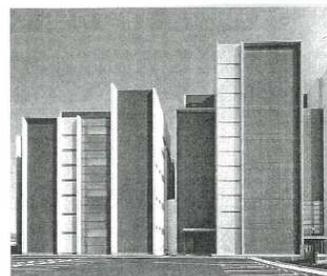
※2018年11月1日現在

拠点

中央区日本橋大伝馬町(本社)、
大阪府吹田市

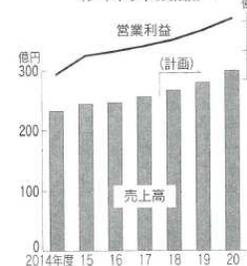
主要業務

ネットワーク、オープン系、
制御システムの構築



開発事業を拡大する(横浜市のデータセンター)

20年度に売上高300億円を目指す
(アイネットの業績)



人手不足 深刻化受け
同業のソフトウェアコ...
アイネットは3月、開...
調査会社のIDCシヤ...
パンの予想では、国内の...
ITサービス産業は年...
均で1.1%成長し、2...
022年には約5兆8...
00億円まで拡大する見...
込み。その一方で、開発...
人員の人手不足が深刻...
なっている。

手企業などに顧客が集中...
するソフトウェアアコ...
拡大に弾みをつける。
アイネットは3月、開...
発業務を融通する「パ...
トナー企業」28社を連携...
させた横断組織「パ...
トナー」を設立した。「定...
期的に情報交換する組織...
を生かして生産性や相互...
の関係を深める」とも...
た。アイネットは「AIの...
普及などで人材の不足感...
はより強まる」とみる。

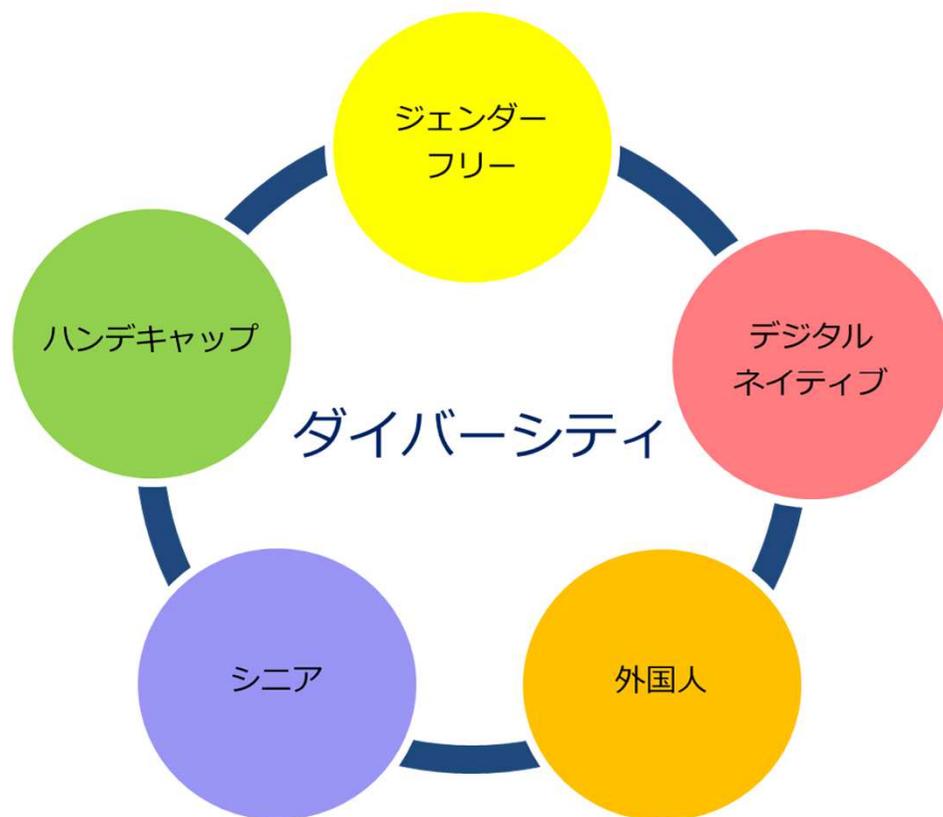
1-1 開発人員 2割増
アイネット、1200人に同業を買収

独立系ITとしてグルー...
プで1000人を超える...
開発人員を抱える強みを...
生かし、シェア拡大を狙...
う。

日本経済新聞 2018年(平成30年)10月17日(水)

多様化する社員のニーズに的確に対応し、
女性活躍や働き方改革対応をより迅速に遂行して行くため
「ダイバーシティ推進室」を新設(2018年10月)

『あなたもわたしもみんなが生きる』



(ダイバーシティトピック)

・えるぼし最高位
2018年10月認定



・健康経営優良法人2019
ホワイト500
2019年2月認定



・障がい者雇用を目的とした
特例子会社
アイネット・データサービス

10th



3. 2019年3月期業績概要

inet 2019年3月期業績概要(連結)

(単位:百万円・%)

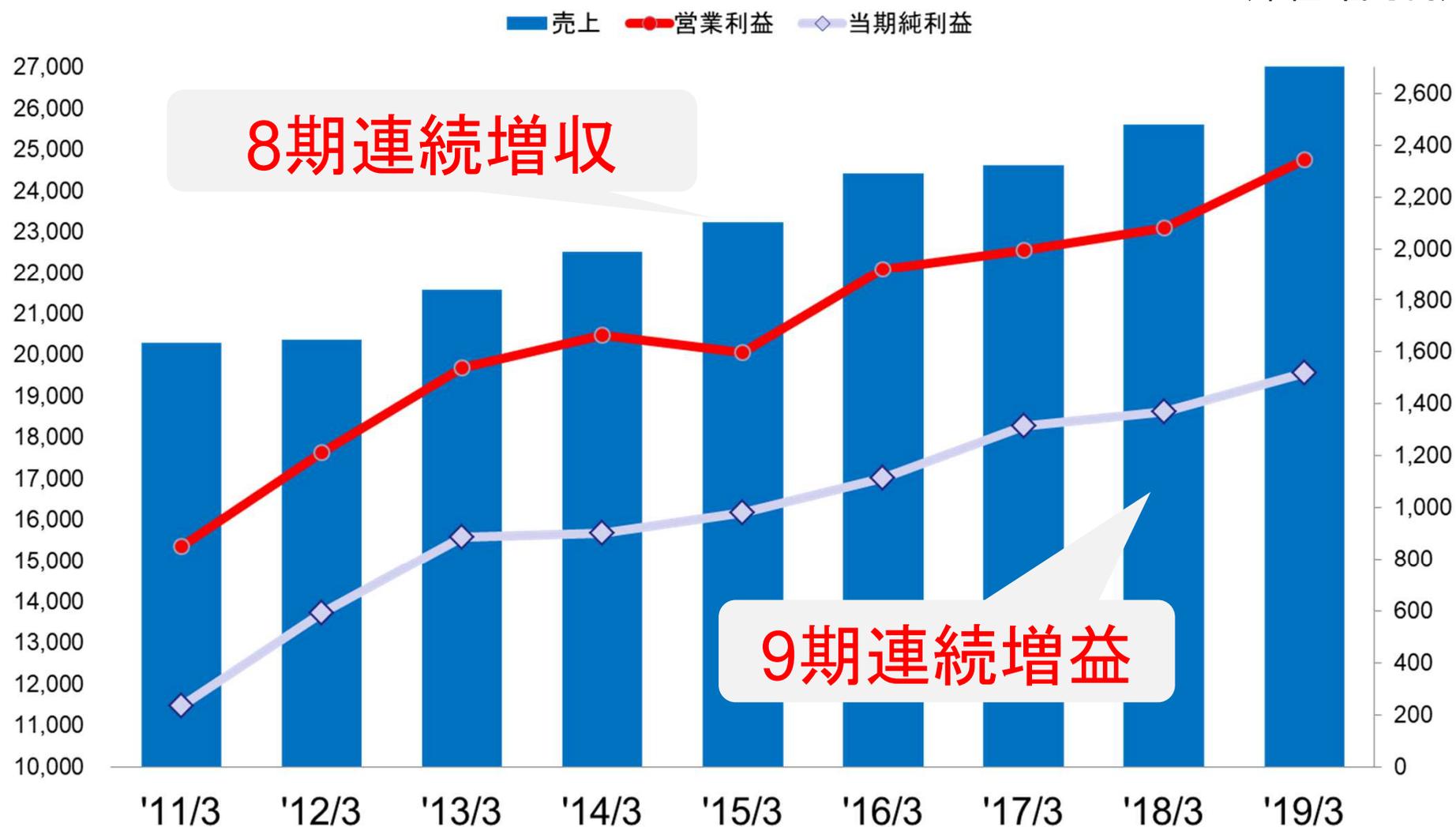
	2018年3月期		2019年3月期		前年同期比	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	25,615	100.0	27,591	100.0	1,975	7.7
売上原価	19,550	76.3	21,005	76.1	1,454	7.4
売上総利益	6,065	23.7	6,586	23.9	521	8.6
販管費	3,983	15.6	4,240	15.4	256	6.4
営業利益	2,081	8.1	2,345	8.5	264	12.7
経常利益	2,051	8.0	2,347	8.5	296	14.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,368	5.3	1,521	5.5	153	11.2
1株当たり利益(円)	86.1	—	95.7	—	9.66	11.2

過去最高

過去最高

inet 売上、営業利益、当期純利益の推移

(単位:百万円)



inet サービス区分別販売実績・営業利益(連結)

(単位:百万円・%)

		2018年3月期	2019年3月期	増減	
				増減額	増減率
情報処理 サービス ①	売上高	10,051	10,091	39	0.4
	営業利益	996	1,027	31	3.1
	営業利益率	9.9	10.2	0.3	-
システム開発 サービス ②	売上高	14,347	16,395	2,047	14.3
	営業利益	1,032	1,256	223	21.7
	営業利益率	7.2	7.7	0.5	-
システム機器販売	売上高	1,216	1,104	△111	△9.2
	営業利益	52	61	9	18.2
	営業利益率	4.3	5.6	1.3	-
合計	売上高	25,615	27,591	1,975	7.7
	営業利益	2,081	2,345	264	12.7
	営業利益率	8.1	8.5	0.4	-

(主な要因)

- ① 一部顧客におけるBPOサービス見直しに伴う受託量が減少があったものの利益率が高いデータセンターサービスやクラウドサービスが好調に推移し、増収・増益
- ② 石油業向けや流通サービス業向け等のシステム構築が好調に推移したことともに、ソフトウェアコントロールの子会社化も寄与し、増収・増益

(注) 営業利益については当社独自の簡便法で作成しており、数値は参考値(目安)とさせていただきます。

(単位:百万円・%)

	2018年3月期末		2019年3月期末		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	9,535	36.7	9,997	35.1	461	4.8
固定資産	16,471	63.3	18,518	64.9	① 2,046	12.4
資産合計	26,007	100.0	28,515	100.0	2,508	9.6
流動負債	6,906	26.6	7,933	27.8	1,026	14.9
固定負債	5,593	21.5	6,224	21.8	631	11.3
負債合計	12,500	48.1	14,158	49.7	② 1,658	13.3
純資産	13,507	51.9	14,357	50.3	850	6.3
負債・純資産合計	26,007	100.0	28,515	100.0	2,508	9.6

(主な要因)

- ① データセンターの設備増強に伴う有形固定資産の増1,250百万円、新規連結子会社化等に伴うのれんの発生296百万
- ② 新規連結子会社取得および、データセンター設備増強等に伴い有利子負債の増1,000百万円、固定資産取得等に伴う未払い金の増445百万円

(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,937	① 3,052	115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,223	② △3,074	△1,850
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,330	③ 17	1,348
現金及び現金同等物の増減額	383	△3	386
現金及び現金同等物の期首残高	2,920	3,303	383
現金及び現金同等物の期末残高	3,303	3,299	△3

(主な要因)

- ①増加・・・利益および減価償却による内部留保で3,713百万円
減少・・・売上債権の増加333百万円、法人税等の支払791百万円
- ②固定資産取得による支出2,298百万円、子会社株式取得による支出809百万円
- ③有利子負債の増加945百万円、リース債務の返済301百万円、配当金の支払619百万円



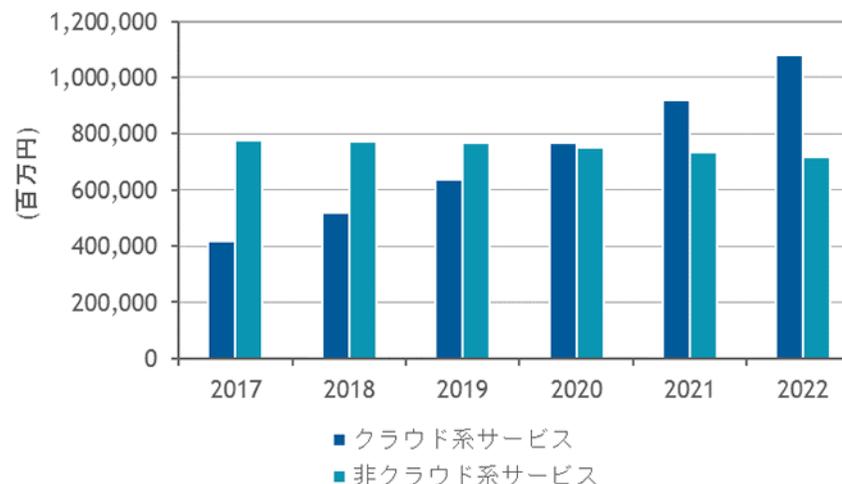
4. 業界環境・当社Grpの概況

■ 主な国内IT市場

● 国内データセンター市場

2022年まで年平均8.6%成長、1兆8000億円規模に。クラウド系サービスが急速に伸び、データセンターサービス市場におけるクラウド系サービスの割合は、2020年に5割を超える見込み

(2018/10/9 IDCジャパンより)

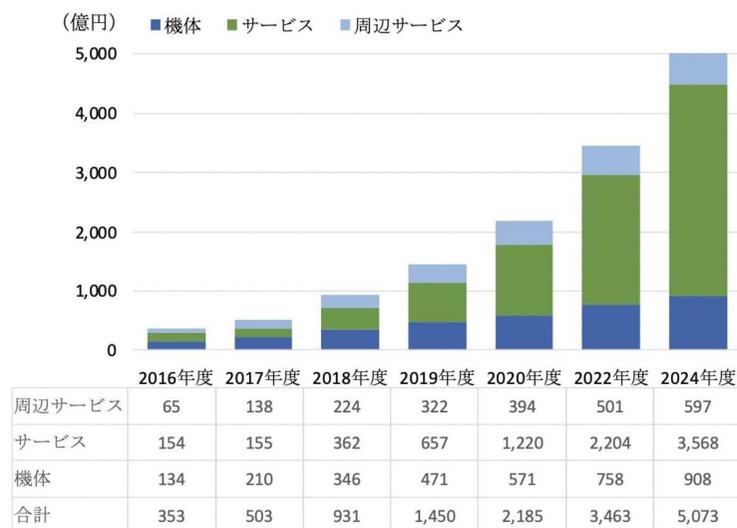


● 国内ドローン市場

2019年度の国内市場規模は1,450億円に拡大、前年度と比べて56%増加。2024年には5,073億円に達する見込み。

分野別には、2018年度はサービス市場が前年度比134%増となり、機体市場を置いて抜いている。

(2019/4/1 インプレス総合研究所より)

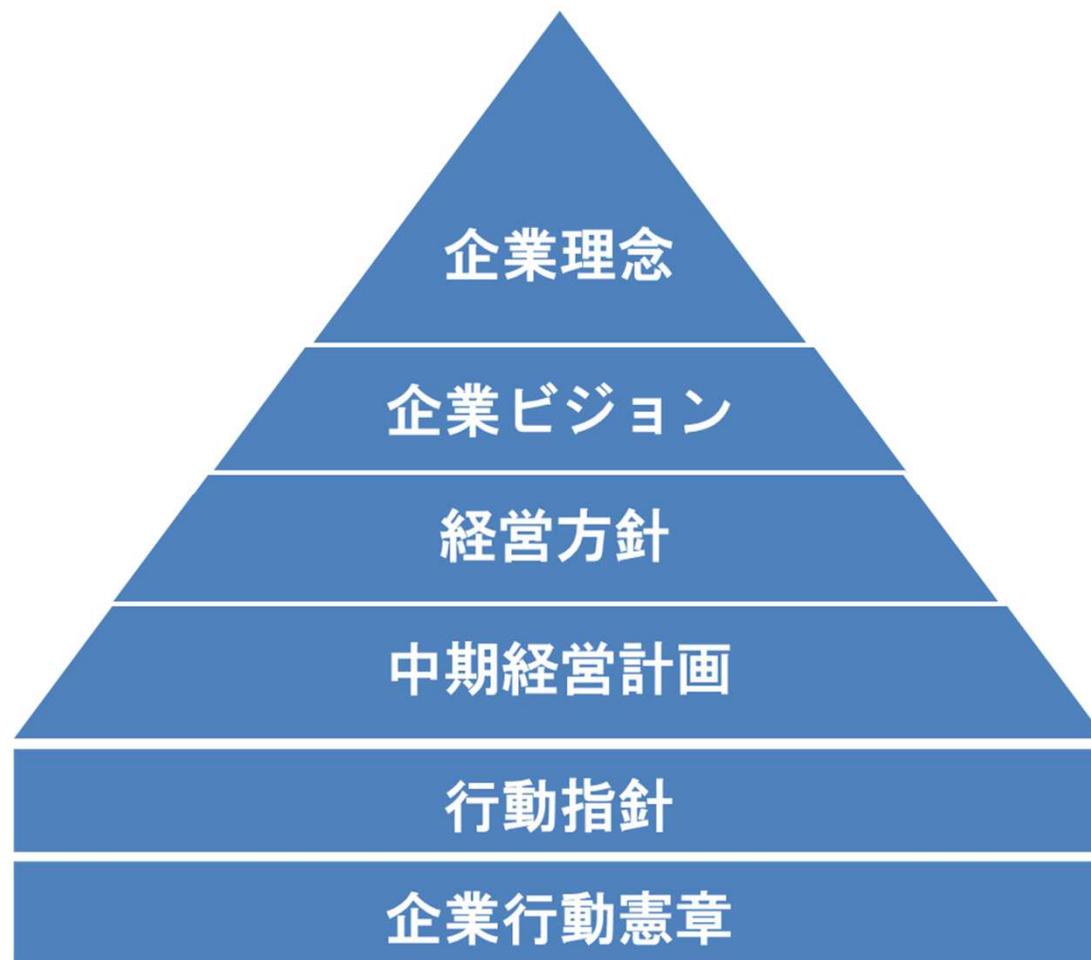


石油元売 石油小売業		<ul style="list-style-type: none"> ・SS数減少傾向の中シェアUPに向けての取組み継続 ・元売り統合の影響は短期的追い風
製造業 制御・宇宙		<ul style="list-style-type: none"> ・システム投資需要好調、IoT関連・RPA取組み増加 ・人工衛星打上げ増加、民間利用に伴い需要増加、スタートアップ企業との連携
金融業		<ul style="list-style-type: none"> ・クレジット／カードローン向けシステム開発好調
小売流通業、他		<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ向け開発案件堅調 ・システム再構築の需要好調 ・観光業などインバウンドサービス向けのビジネス展開
データセンター クラウド サービス		<ul style="list-style-type: none"> ・先進的クラウドサービス基盤(NGEC)、受注順調 ・「NGEC+アプリ」のサービス化、アライアンス順調 ・ドローンを活用したIoTのプラットフォーム事業、着実に前進 ・個人情報保護、DC+プリント／メーキングで差別化推進



5. 中期経営計画

当社は、2年後に創立50周年を迎えます。これを機に、持続的成長可能な企業を目指し、さらなる成長をしていくための企業活動の基本となる「inet Way」を制定いたしました。



■企業理念

情報技術で新しいしくみや価値を創造し、
豊かで幸せな社会の実現に貢献する。

■企業ビジョン

アイネットグループは、「創造」「挑戦」「信頼」をベースに
持続的な企業価値向上を目指し、社会とステークホルダーに
貢献する企業として成長します。

integrated

知恵の価値を共有し、
情報化社会をリードする企業

energy

持続可能な社会の実現に向けた
創造性とイノベーションに挑戦する
活気あふれた企業

networking

技術と技術、心と心(人與人)、
個人と社会のネットワーキングづくりを
目指す企業

technology

情報技術で豊かで幸せな社会の
実現に取り組む企業

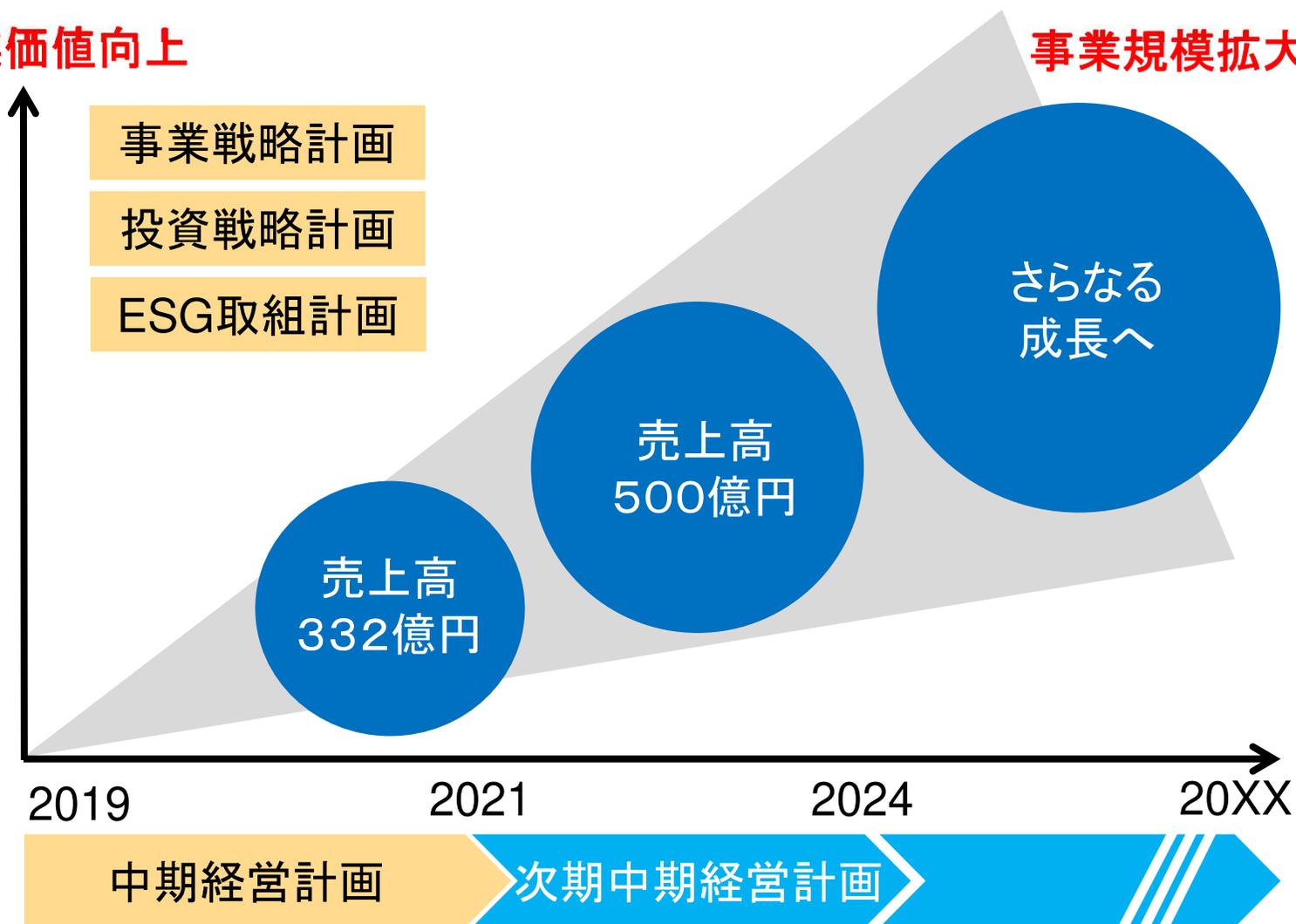
持続的成長を可能にする エクセレントカンパニーへ

~keep growing while changing~

～keep growing while changing～

企業価値向上

事業規模拡大



お客様との絆を
より強固にする

「守り」

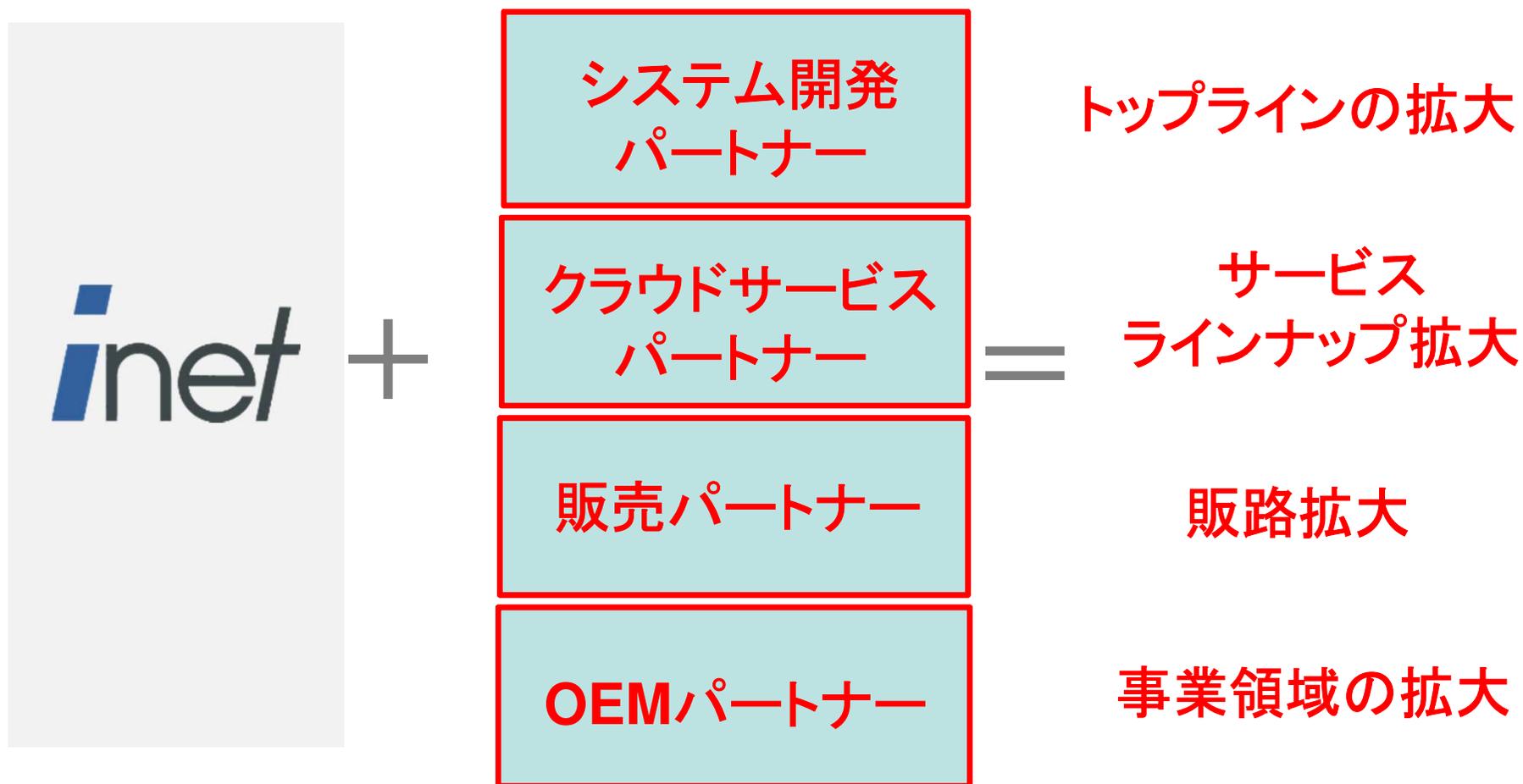


新たな市場領域や
サービスを開拓する

「攻め」

お客様第一の考え方の徹底
付加価値のある提案
成長が見込める商品・サービス開発
人材への投資

『パートナー戦略とチャネル戦略』



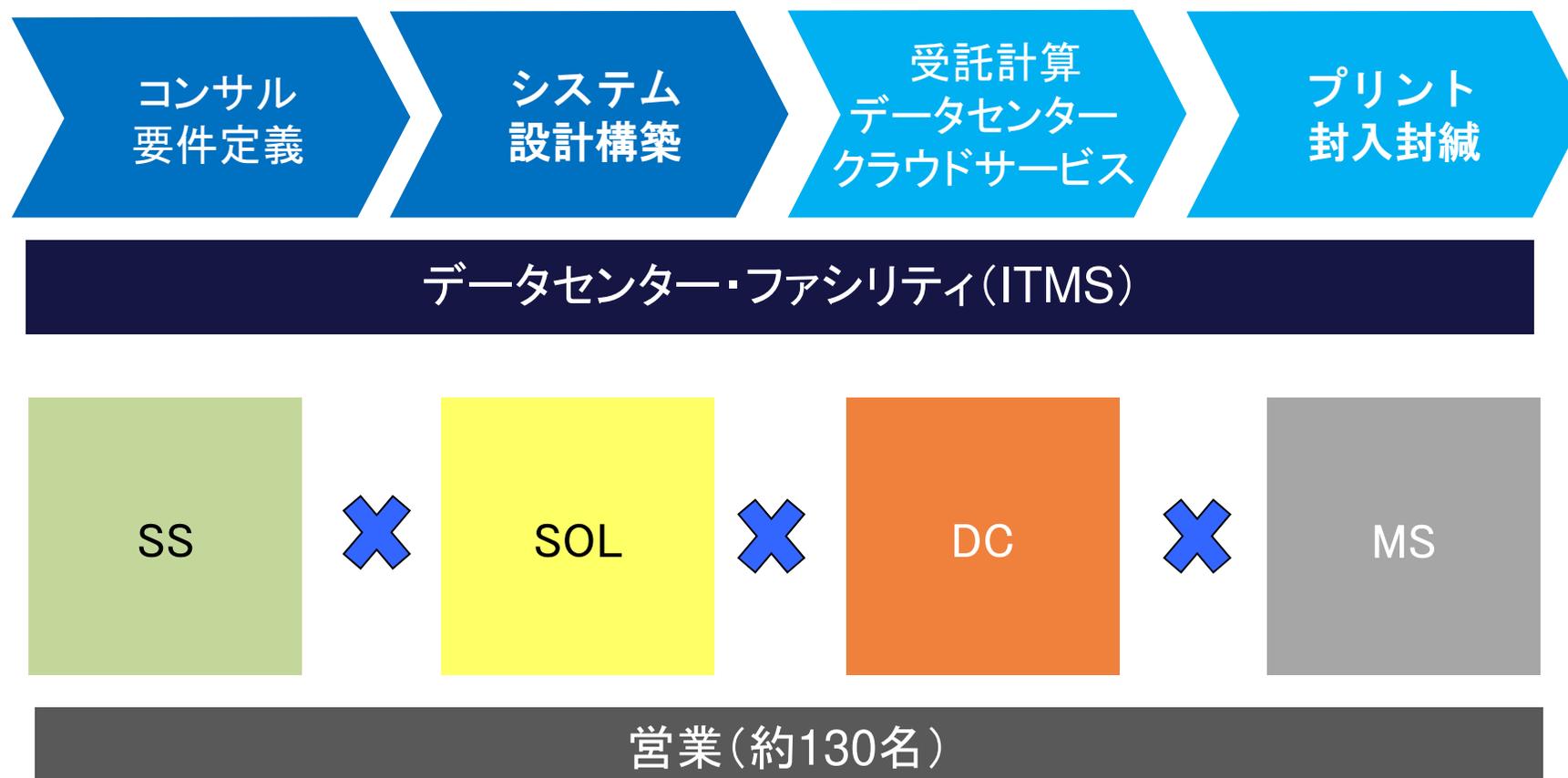
プラットフォームとして

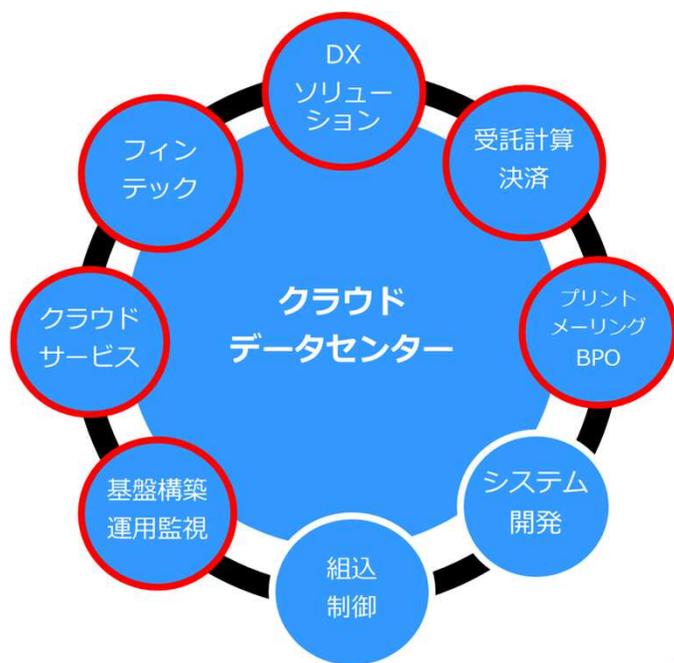
『クラウド基盤 (NGEC) + アプリ』のサービス化



Next Generation
EASY Cloud[®]
Cloud Data Center

『企画からBPOまでの 一貫ビジネスにおけるクロスセル』のさらなる推進





【SS・受託計算・決済】

- ・処理SS数シェア率アップ(33%⇒50%超へ)
- ・全国営業支店網を活かした非石油ビジネスの拡大
- ・LPG販売業向けサービスの拡販

【クラウドサービス】

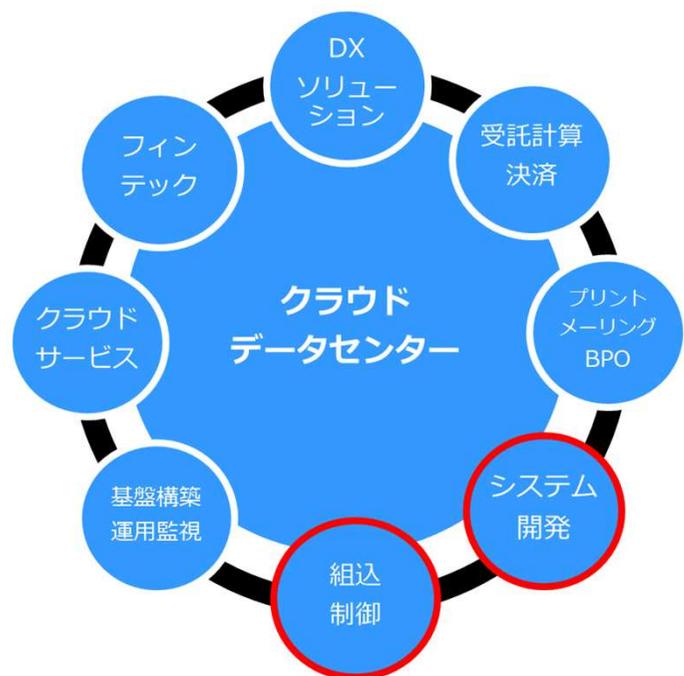
- ・クラウドサービス基盤(NGEC)の販売拡大
- ・販売チャネルの強化、拡大
(リセラーの増加/OEMモデルの展開)

【プリント・メーリング/BPO】

- ・提供サービス範囲の見直し、拡大
- ・BPOサービス事業の積極的拡大

【DXソリューション】

- ・ドローンを活用したBIM、CIMビジネスの早期収益化
- ・中堅、中小企業向けAIクラウドサービスの拡充と販売拡大
- ・IoTビジネスモデルの確立と展開



【金融】

- ・金融市場のニーズ変化に合わせた金融パッケージの強化、見直し

【流通・サービス】

- ・流通業向け販売管理業務ノウハウを活かした競合差別化（業種テンプレート導入ビジネスの展開）
- ・AS400レガシー資産のモダナイゼーションのノウハウ活用／受注拡大

【宇宙】

- ・ニュースペース企業、自社衛星開発ベンチャー企業との取引先拡大で事業範囲拡大

【新市場・サービス】

- ・新たなビジネス市場への参入、展開
「駐車場」関連、「レンタル」関連



R&D



【人材育成】

- ・新卒採用人数の目標達成への施策実行、中途採用戦略の実行
- ・各レベル層の人材力アップ向けに教育研修制度や内容の強化

【データセンター】

- ・第1および第2データセンター設備更新の計画的遂行
- ・データセンター増床、増設計画の方針検討

【研究開発】

- ・NGECを進化させた次世代クラウドプラットフォーム開発
- ・データ分析、データサイエンスビジネスの展開
- ・人工衛星データのビジネス活用

【海外事業】

- ・海外進出形態検討(東南アジアの海外拠点開設予定)
得意分野と先端技術によるサービス展開を目指す

【健康経営の推進】

【ダイバーシティ推進】

アイネットは、社員が経営における最大の財産であるという考えのもと、社員が心身ともに健康であることこそが、持続的な企業価値向上の源泉であると考え、健康経営を推進します。そして、社員のみんなが安心して力を発揮できる労働環境をつくるため、ワークスタイルの変革を推進します。



『ホワイト500』

2019年2月認定

経産省、厚労省 他

(健康に関する主な取り組み)

- ・健康経営を宣言
- ・定期健康診断の受診の徹底、及び受信結果に基づいたフォロー
- ・産業医、健康支援室設置
- ・メンタルヘルス試験取得奨励

『えるぼし』

2018年10月認定

厚生労働大臣 認定

(女性活躍に関する主な取り組み)

- ・女性比率 23.0%
- ・新卒女性採用比率40%以上
- ・女性員会の設置
- ・ダイバーシティ推進室の設置
- ・女性取締役の就任(11名中2名)
- ・かながわ女性の活躍応援団

『くるみん』

2012年5月認定

厚生労働大臣 認定

(子育てに関する主な取り組み)

- ・短時間勤務制度の拡充
(小学3年まで)
- ・定時退社日の設置
- ・配偶者の出産休暇
- ・メモリアル休暇
- ・在宅勤務制度
- ・ジョブリターン制度

【障がい者雇用の促進】

『アイネット・データサービス』

障がいのある方に活躍の場を提供し、自律を支援することを目的に特例子会社(厚生労働大臣認定)を設立

自立そして自律

自立 成長 自律



■ 主な業務



データ入力



スキャニング



軽作業



名刺作成 他



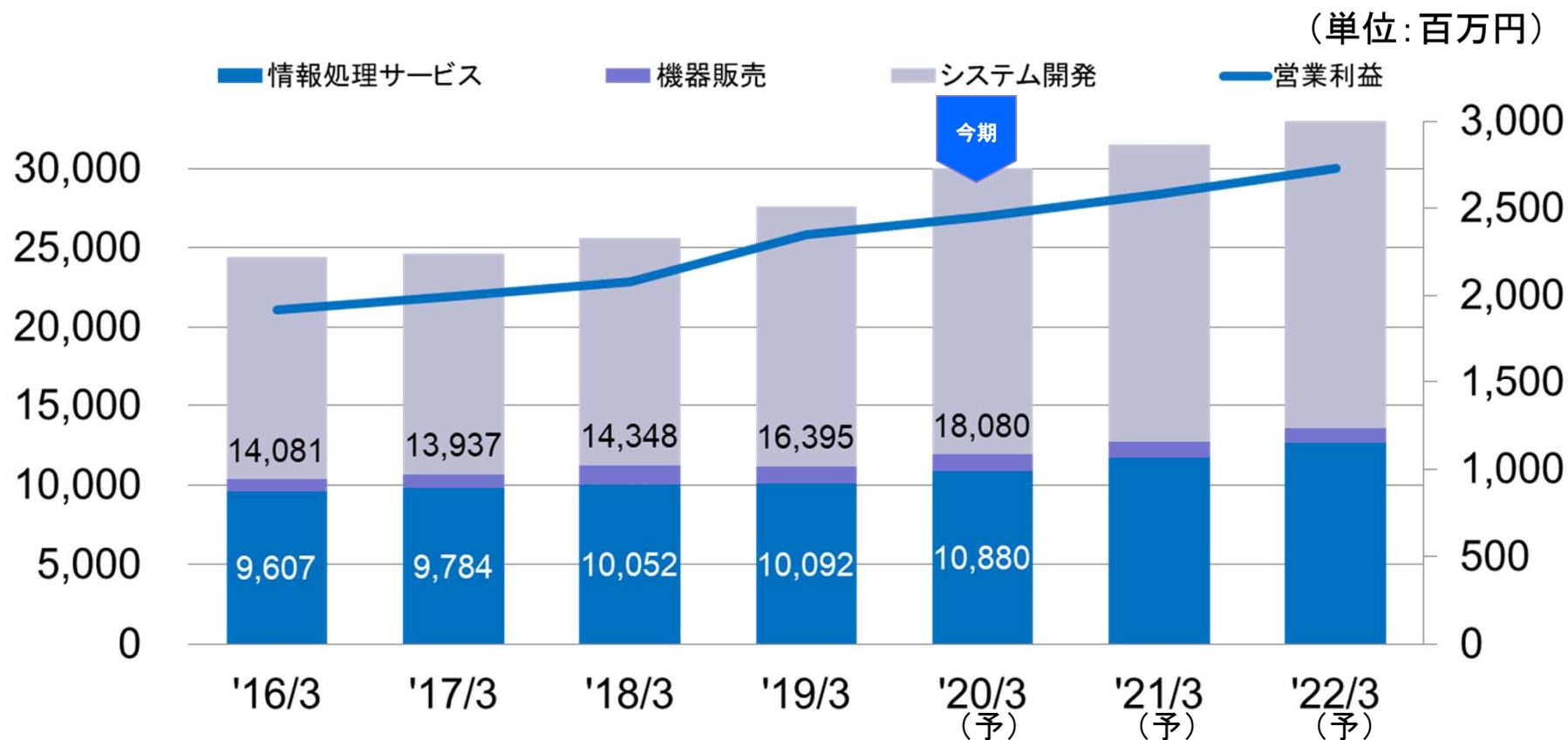
【子育て・女性活躍支援サイト
「働くママ応援し隊」の成長】

『働くママ応援し隊』

横浜市オープンデータを活用した
保育施設検索サイト
「働くママ応援し隊」を開設・運営



<https://kosodate.inet.co.jp/>



売上高	24,434	24,617	25,615	27,591	30,000	31,500	33,200
営業利益	1,918	1,992	2,081	2,345	2,450	2,580	2,730
ROE	9.4%	10.7%	10.4%	10.9	10.9	11.0	11.1

過去最高益



6. 通期業績予想

（単位：百万円・％）

	2019年3月期		2020年3月期		前期比	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	27,591	100.0	30,000	100.0	2,409	8.7
売上原価	21,005	76.1	22,670	75.6	1,664	7.9
売上総利益	6,586	23.9	7,330	24.4	743	11.3
販管費	4,240	15.4	4,880	16.3	639	15.1
営業利益	2,345	8.5	2,450	8.2	104	4.4
経常利益	2,347	8.5	2,390	8.0	42	1.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,521	5.5	1,590	5.3	68	4.5
1株当たり利益(円)	95.7	—	100.0	—	4.3	4.5

過去最高

過去最高

inet サービス区分別 売上・営業利益予想(連結)

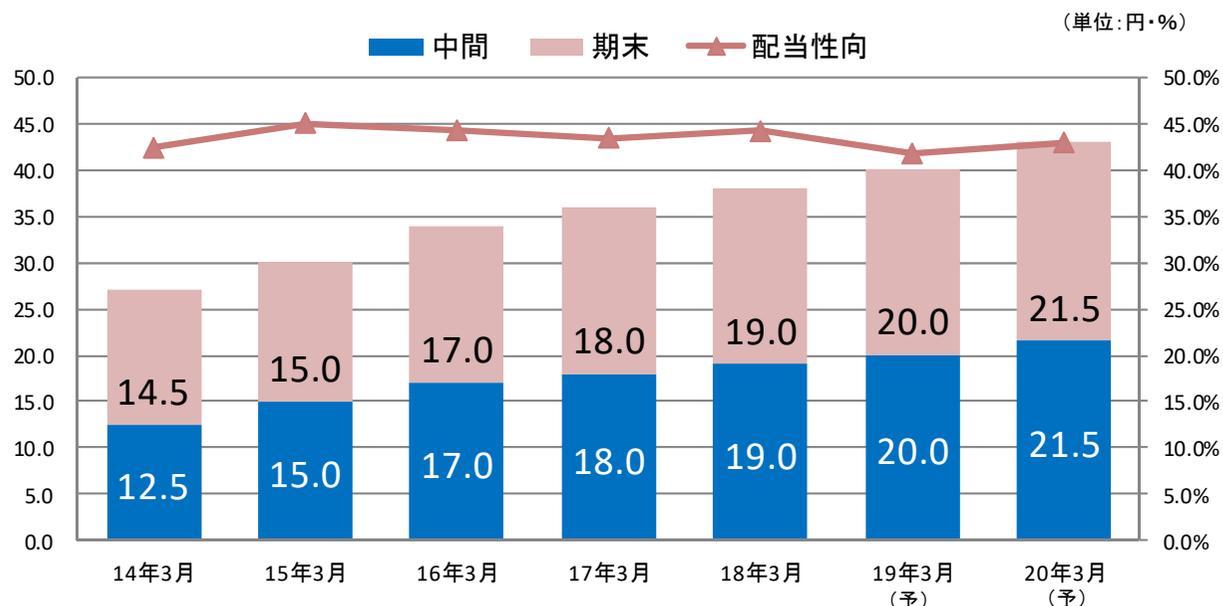
(単位:百万円・%)

		2019年3月期	2020年3月期	増減	
				増減額	増減率
情報処理 サービス	① 売上高	10,091	10,880	788	7.8
	営業利益	1,027	1,058	31	3.0
	営業利益率	10.2	9.7	△0.5	-
システム開発 サービス	② 売上高	16,395	18,080	1,684	10.3
	営業利益	1,256	1,331	74	5.9
	営業利益率	7.7	7.4	△0.3	-
システム機器販売	売上高	1,104	1,040	△64	△5.9
	営業利益	61	59	△1	△2.5
	営業利益率	5.6	5.8	0.2	-
合計	売上高	27,591	30,000	2,408	8.7
	営業利益	2,345	2,450	105	4.4
	営業利益率	8.5	8.2	△0.3	-

- ①データセンタービジネスやクラウドサービスが好調で増収増益
先行投資・ライセンス償却・研究開発に対応する原価も含まれる
- ②システム開発需要増は2019年も継続、増収増益

(注)営業利益については当社独自の簡便法で作成しており、数値は参考値(目安)とさせていただきます。

《配当方針》
 将来の資金需要に備え
 内部留保しつつ
 安定配当を継続実施



※16年10月1日に株式分割をしておりますが、配当実績(予想)で記載しております。(分割影響調整せず)

1株当たり年間配当金の計画(8期連続増配予定)

2018年3月期

38.0円
 中間(19.0円)
 期末(19.0円)



2019年3月期

40.0円
 中間(20.0円)
 期末(20.0円)



2020年3月期

43.0円
 中間(21.5円)
 期末(21.5円)

本日はご多用中にもかかわらず
説明会にお越しいただき誠に
ありがとうございました。



当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がありますことを、予めご承知頂きますようお願い申し上げます。

当資料に掲載されているサービスおよび商品などは、株式会社アイネットあるいは各社の登録商標または商標です。

お問い合わせは、下記連絡先までお願い致します。

企画・IR部

TEL 045-682-0808

E-Mail contact_ir@inet.co.jp

URL <https://www.inet.co.jp>